

目 次

序

I 生態系影響評価

1. 毒性データに基づく保全目標設定方法並びに問題点および今後の課題	1
1. はじめに	1
2. 化学物質による生体影響の特徴	1
3. 一般的評価手順	2
4. 生態系への有害性試験	3
5. PNECの推定	7
6. リスク評価	11
7. 今後の課題	12
2. 各国における保全目標設定方法と基準値	15
1. 水質環境基準	15
2. 欧米各国における水質環境基準の設定状況	15
3. アメリカ	24
4. カナダ	24
5. 英国	24
6. ドイツ	31
7. フランス	31
8. 日本	31
9. 各国の水質基準値の比較	32

II 生態毒性試験法

1. 化学物質の生体系影響評価試験の開発動向	37
- 試験キットを用いた毒性試験法とその適用	
1. はじめに	37
2. 標準的な生態系影響評価試験	37
3. 毒性スクリーニングのための試験キット	38
4. テストバッテリーによる新規防汚剤の毒性評価	40
5. 試験キットの応用と問題点	42
2. 海産植物プランクトン急性毒性（成長毒性）試験法	45
1. 植物プランクトン急性毒性試験法の概要	45

2. 試験法	45
3. 試験法の解説	48
3. 海産動物プランクトン遊泳阻害試験法	51
1. 動物プランクトン遊泳阻害試験の概要	51
2. 試験方法	51
3. 試験法の解説	52
4. 海産魚類急性毒性試験法	57
1. 海産魚類急性毒性試験の概要	57
2. 試験法	57
3. 試験法の解説	58
5. 海産魚類慢性毒性試験法（初期生活段階毒性試験法）	63
1. 初期生活段階毒性試験法の概要	63
2. 試験法	63
3. 試験法の解説	64
4. マミチョグを用いた初期生活段階毒性試験法の実例	66
6. 海産エビ類による急性毒性試験法	77
1. エビ類急性毒性試験の概要	77
2. 試験方法	77
3. 試験法の解説	78